

報道関係者各位

大手証券会社、フィデッサのシステムを通じ

大阪証券取引所 次期デリバティブ売買システム「J-GATE」の運用稼働を開始

[2011年2月23日、東京] 全金融資産取引対応のトレーディングシステムを運用会社及び証券会社双方に提供する株式会社フィデッサ(東京都千代田区、社長イアン・チルトン。本社英国ロンドン。以下、フィデッサ)は、同社の国内顧客証券会社各社が、今月2月14日より稼働を開始した大阪証券取引所の次期デリバティブ売買システム「J-GATE (Global Access Trading Engine)」の運用を開始したことを発表しました。

J-GATE は、投資家の利便性や国際的な市場間競争力を向上させる観点から、2011年2月14日に稼働を開始した大阪証券取引所の新デリバティブ売買システムです。J-GATE の導入により、注文処理速度は20倍、注文処理スループットは15倍のキャパシティとなります。また、アクセシビリティの向上のため、API(Application Programming Interface) 接続だけでなくFIX(Financial Information eXchange) 接続を用意するなど、海外からの市場流動性を積極的に取り込むための抜本的な刷新を行っています。

株式会社フィデッサのチーフエグゼクティブであるイアン・チルトンは、「フィデッサをご利用の証券会社が、2月14日の稼働開始日以降、J-GATE による運用を円滑に行っていることについて大変喜ばしく思っております。J-GATE は、世界70ヶ所以上の取引所が利用するNASDAQ OMX 社のシステムを採用しています。弊社では既にNASDAQ OMX 社のシステムを利用する欧米やシンガポール・香港・モスクワやドバイなど世界各国の取引所への接続経験があるため、今回のJ-GATE への対応は、我々が持つ北米及び欧州市場において培った実績と技術を、日本市場における10年来の知識と経験の蓄積と融合することで、スムーズな対応が可能となりました。世界的な流れとして今後も取引所システムの競争は激化し、それに伴い証券会社における執行テクノロジーへの要求が益々高まると予想されますが、弊社はこれからも日本におけるトレーディングシステム及び市場データ提供の事業領域においてお客様に貢献できるよう努力し続ける所存です。」と述べています。

フィデッサの製品・サービスは、世界各国950の企業で26,000人のユーザーに提供され、世界の大手金融機関の85%に採用されています。また、国内600社以上のブローカーと約2,400社のバイサイド顧客、さらには150の取引所・代替執行市場との間を、フィデッサグローバル注文回送ネットワークで接続しています。

フィデッサ・グループについて

フィデッサ・グループは、全金融資産対応トレーディングシステム、ポートフォリオ分析、投資意思決定支援、コンプライアンスチェック、マーケットデータ、グローバルコネクティビティを包括する世界最高水準のトレーディングソリューションを、世界の金融市場でトレーディングを行う企業に提供しています。フィデッサが提供するプロダクトやサービスは世界中の様々なタイプの金融資産のトレーディングや保有を容易に管理することを目的として、シンプルな構想に基づいて構築されています。

当社は、数多くの実績を有する高成長企業です。業界標準とされる他に類を見ないプロダクトやサービスを携え、市場における実践的な先駆者として世界中の金融機関に認められています。

事業開始以来 30 年の間に蓄積された経験を基に、高機能かつ安定性のある基幹システムを提供しています。全てのプロダクトは構想段階から自社で開発され、更なる発展を目指して研究開発のための投資が続けられています。この先進的な統合ソリューションにより**フィデッサ**は金融業界では不可欠の存在となり、今や業界を代表する世界中の金融機関の 85%が**フィデッサ**のユーザーです。

フィデッサは、本社をロンドン、欧州・北米・アジア・中東地域に地域オフィスを配しています。顧客企業は大手投資銀行や機関投資家を始め、専門分野を取り扱うブローカーやヘッジファンドなど、約 950 社、26,000 名の登録ユーザーにサポートを提供しています。

フィデッサ・グループは、ロンドン証券取引所に上場(証券コード:FDSA)しており、FTSE250 インデックスの構成銘柄です。売上高は約 2.6 億ポンド、1997 年の上場来の成長率は複利で 30%に達しており、現在世界中で 1,600 名の従業員を擁しています。

詳細については次のウェブサイトをご参照下さい。<http://www.fidessa.com/jp/>